

中山間ふるさと・水と土保全対策の 実績と今後の計画

令和2年7月14日（火）
滋賀県 農政水産部 農村振興課
地域資源活用推進室

■ふるさと・水と土保全対策事業の概要

○趣旨

農業・農村の多面的機能の発揮と集落共同活動の活性化を図るため、「ふるさと・水と土保全基金」を造成し、その運用益等により地域住民活動を推進する人材の育成、施設の利活用および保全整備等の促進に対する支援を行う（H5から実施）。

○滋賀県の基金

県基金事業

- ・ふるさと・水と土保全基金 基金造成額：8.6億円（H5～H9）
（国補助：6.69億円＜国1/3,県2/3＞ 県単独：1.91億円）
基金条例 平成5年10月15日施行
基金残高 令和元年度末：7.66億円
- ・5年ごとの事業計画を作成して事業を実施
- ・事業の種類 ①調査研究事業 ②研修事業 ③推進事業

1. 事業実績 (H27~R1)

■ 目指す姿

集落の課題に対する話し合いを進め、集落の農業者と住民が互いに支え合い、企業や大学、NPO等と協働し、地域資源を活かした協働活動を行うことにより、農村活性化を目指す。

■ 主な成果目標（H27～R1）

事業区分	事業内容	当計画における成果目標	
1. 調査研究事業	基礎対策等の作成およびこれに要する調査	集落と多様な主体とのマッチングを図る体制の整備	支援地区 0→40主体 ※プロジェクトへの登録数
2. 研修事業	地域住民活動の活性化に関する推進指導及び助言等を行う人材の育成	指導員等の育成	人材育成研修 年1回→ 年2回
3. 推進事業	2で育成した人材等が行う地域住民活動の活性化の推進	農村活性化の計画・実践活動を行う集落の支援	支援地区 0→12地区

■ 5年間の取組

1. 調査研究事業

年度	事業名	内容	備考
H27～H28	地域づくり芽出し講座	住民が地域の課題を考え、取り組む活動に対しワークショップや講師派遣等を実施	3地区
H28～H29	中山間地域現状調査	農村集落の現状把握、対策の基礎資料とするための調査を実施。	36集落
H30～	中山間ふるさと農村支え合い事業	企業、大学等と集落のマッチングを行うための体制整備として、企業等に対し「しがのふるさと支え合いプロジェクト」への参加促進。	38団体

2. 研修事業

年度	事業名	内容	備考
H27	指導員研修	県内研修会の開催を通じて実践活動における資質向上を図る。	1回
H28～H29	中山間地域 現状調査	農村集落の現状調査とあわせて、指導員とともに集落でのワークショップを実施することにより、資質向上を図った。	6集落
H30～	地元活性化 リーダー育成 事業	地元活性化の取組を行うリーダー人材育成のための研修会を開催。	10地区



研修（H30東近江会場）



事業計画づくりワーク
ショップ（R1湖北会場）

3. 推進事業

年度	事業名	内容	備考
H27～H29	ふるさと農村支援事業等	地域活性化を図る目的の地域住民活動への支援	1回
H30～	中山間ふるさと農村活力づくり支援事業	3年以上継続して集落等と協働活動を行う企業や大学等への補助	8団体
H30～	しがのふるさと活力づくり支援事業	集落が行う地域活性化の取組への補助	4団体
H27～H31	普及・啓発事業	本事業趣旨や農業農村整備事業の取組の普及・啓発	広報誌、HP等
H27～H31	懇話会の開催	本事業を効果的に推進するために各分野の委員による懇話会を開催	8回



住民参加の収穫祭(H27甲賀市岩室)



大学との連携(R1高島市深清水)



県フェイスブックでの発信

3. 推進事業 しがのふるさと支え合いプロジェクト

中山間地域の集落や地域活動団体と、企業や大学、NPO法人等が協働して行う、地域活性化の取組を支援



■ H30 しがのふるさと支え合いプロジェクト

滋賀文教短期大学

⇔ 池原自治会

- ・ 棚田保全、地域資源活用検討



【長浜市】

社会福祉法人パレット・ミル

⇔ 観音寺自治会

- ・ 農作業の協働
- ・ 集落行事での交流



【栗東市】



龍谷大学農学部食料農業
システム学科 ⇔

百済寺ブランド認証協議会

- ・ 都市農村交流、地域資源活用検討



【東近江市】

トヨタ紡織滋賀株式会社 ⇔

山女原棚田ボランティア委員会

- ・ 耕作放棄地の活用、都市農村交流



【甲賀市】

■ R1 しがのふるさと支え合いプロジェクト

龍谷大学農学部食料農業システム学科 ⇄ 高島
深清水オリーブ産地協議会

- ・ 植樹作業、都市農村交流、地域資源活用検討



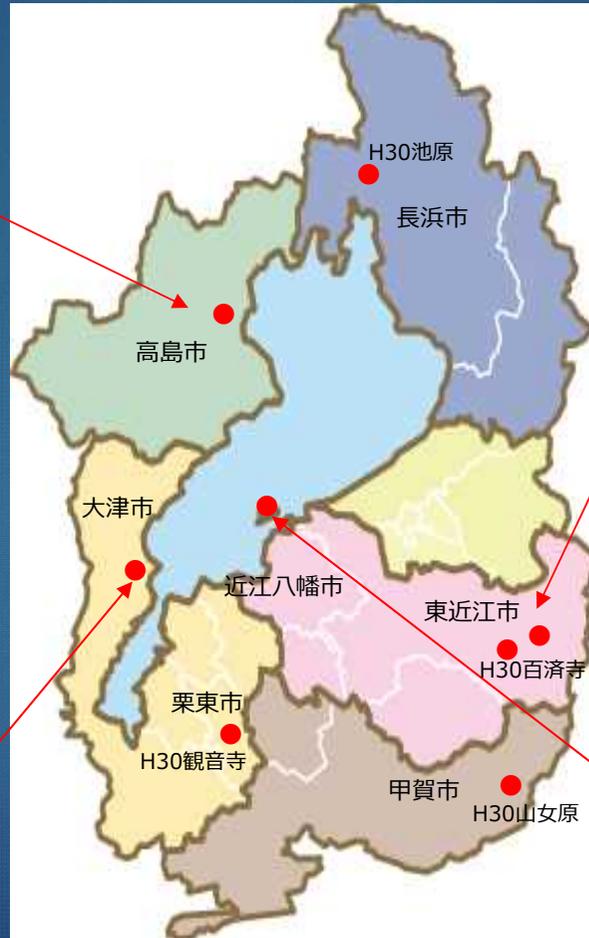
【高島市】

成安造形大学
⇄ 仰木自然文化庭園構想
八王寺組

- ・ 棚田保全活動



【大津市】



滋賀県立大学 近江楽座
「政所茶レン茶」 ⇄
政所茶生産振興会

- ・ 政所茶生産とPR



【東近江市】

滋賀県立大学 近江楽座
「座・沖島」 ⇄
沖島町離島振興推進協議会

- ・ 農水産物の生産とPR、地域行事



【近江八幡市】

■ 目標達成状況

事業区分	成果目標の達成状況	
1. 調査研究事業	集落と多様な主体とのマッチングを図る体制の整備	しがのふるさと支え合いプロジェクトへの登録数 目標：0→40主体 実績：累計38主体 <u>■プロジェクトの体制整備が整った。</u> <u>今後はプロジェクト拡大を進める。</u>
2. 研修事業	中山間地域の活性化に取り組む人材の育成	人材育成研修 目標：年1回→年2回 実績：年2回（×4地区） <u>■地域活性化方法について幅広い対象者に基礎的な研修を行った。今後は広く実践的に学べる場を提供しつつ、実践活動への支援を行う。</u>
3. 推進事業	農村活性化の計画・実践活動を行う集落の支援	支援地区 目標：0→12地区 実績：累計10地区 <u>■今後は成果を発信しながら取組地域を拡大する。</u>

2. 事業実施計画 (R2～R6)

■事業実施計画(R2～R6)

事業実施の基本方針

・中山間地域等直接支払制度等の活用と合わせ、「滋賀県中山間地域振興の手引き」に基づき、集落への助言や活動支援、人材の育成、企業や大学等との協働活動の推進、関係人口増加のためのPR等を通じて、中山間地域に対する総合的な支援を実施。

目指す姿

- ・地域を牽引する人材が育成され、地域資源を活かした住民主体の活動が各地で展開される。
- ・中山間地域における協働活動やボランティア活動に参加する企業や大学、都市住民といった関係人口が増加する。
- ・これらを通じて中山間地域が活性化し、農地等が保全され多面的機能が発揮される。

■ 事業実施計画（R2～R6）

事業区分	事業内容	当計画における成果目標	
1. 調査研究事業	<ul style="list-style-type: none"> 「滋賀県中山間地域振興の手引き」に基づき助言・支援を行うための体制整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「滋賀県中山間地域振興の手引き」の策定 相談体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 手引き策定 1 相談体制整備 1
2. 研修事業	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民活動を推進する人材を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> 10名/年 (累計50名)
3. 推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 多様な主体との協働活動による活性化の取組（しがのふるさと支え合いプロジェクト）を拡大する。 中山間地域活性化の取組を広くPRする。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な主体と協働して活性化の取組を行う地区数（協定締結数）。 情報による発信 	<ul style="list-style-type: none"> 5年間で累計約20地区 PR誌発行年2回

■ 今後の進め方

計画に沿って事業を進めながら、「ふるさと・水と土保全対策懇話会」において評価を受け、計画に反映させながら対策を実施する。



農業・農村の多面的機能の維持、中山間地域の活性化